

生駒市市民アンケート調査結果（速報）

1. 調査概要

(1) 目的

この調査は、市民の方々に、本市の環境に関する評価や日頃の環境行動の実践状況、本市の環境に関する今後の方向性などのご意見を伺い、平成 31 年 4 月から始まる第三次生駒市環境基本計画策定の基礎資料として活用するために実施しました。

(2) 調査対象

市民 2,000 人

【選定方法】住民基本台帳から市内に住む 18 歳以上の方を性別、年代による層化無作為抽出

(3) 調査方法

回答は無記名とし、平成 29 年 9 月 25 日～10 月 10 日を調査期間として郵送による配布、回収を実施。なお、調査期間を超えて返送された調査票についても、集計対象としています。

(4) 調査項目

- ・回答者の属性
- ・環境モデル都市について
- ・環境への関心・考え方について
- ・現状の環境・環境施策に対する満足度・重要度・誇りに思う生駒の環境について
- ・環境行動取組状況・今後の取組意向について
- ・取組の認知度・参加状況・関心度について
- ・生駒市の理想的な将来像について
- ・環境関連情報の入手先について
- ・地球温暖化対策について

(5) 回収の結果

抽出数 : 2,000 人 (うち、無効票数 6 人)
有効回収票数 : 751 票 (10 月 13 日現在) ※その後、追加回答が来ています
有効回答率 : 37.7%

(6) 留意点

- ・集計では、四捨五入の都合上、数値の合計が 100%にならない場合があります。
- ・グラフ中の N とは、回答者数を表し、無回答を含みますが、無効・除外した回答を含みません。

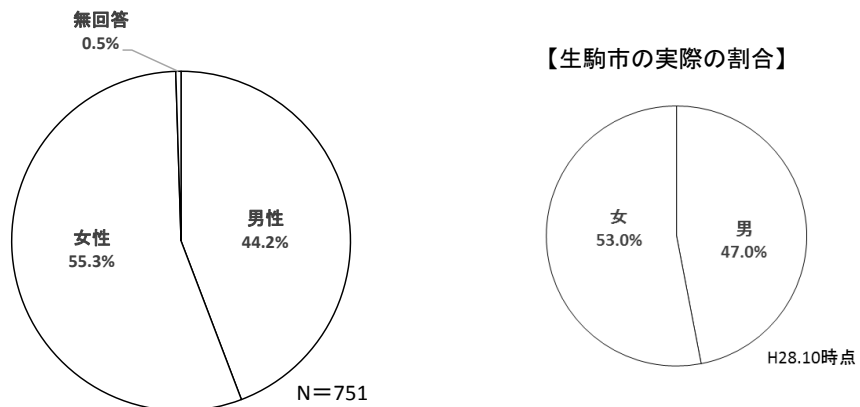
2. 調査結果の詳細

■ 回答者属性

問1 はじめに、あなたやあなたのご家族についておたずねします。
[1~8のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○印]

① 性別

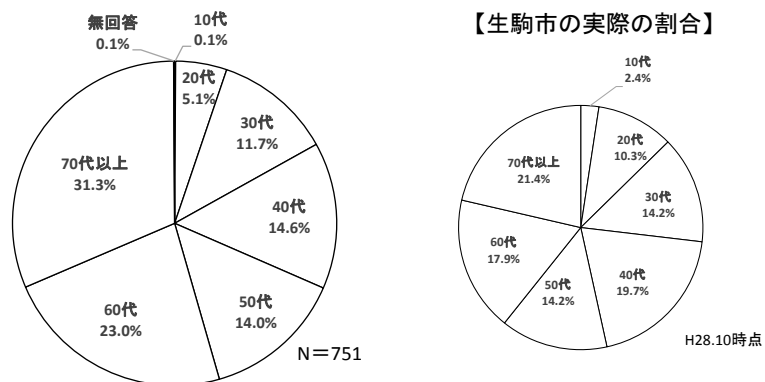
「男性」は44%で、「女性」は55%でした。実際の割合に比べると、やや女性の割合が高くなっていました。



② 年齢

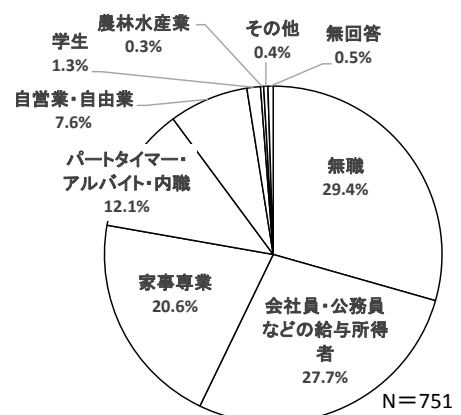
「70代以上」が31%と最も多く、「60代」が23%、「40代」が15%となっています。60代と70代以上を合計すると54%と過半数でした。

本市の実際の年代別割合に比べると、40代以下では実際の割合よりも回答者の割合が低く、60代以上では、実際の割合より回答者の割合が高くなっていました。



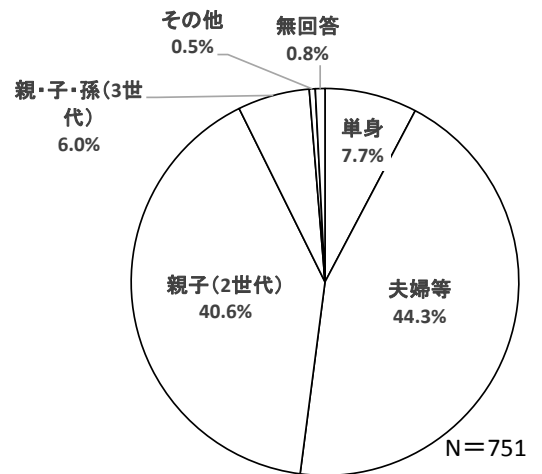
③ 職業

「無職」が29%と最も多く、次に「会社員・公務員などの給与所得者」が28%、「家事専業」が21%となっています。無職が多いのは、アンケート全体として、60代以上の回答者数が多かったためと考えられます。



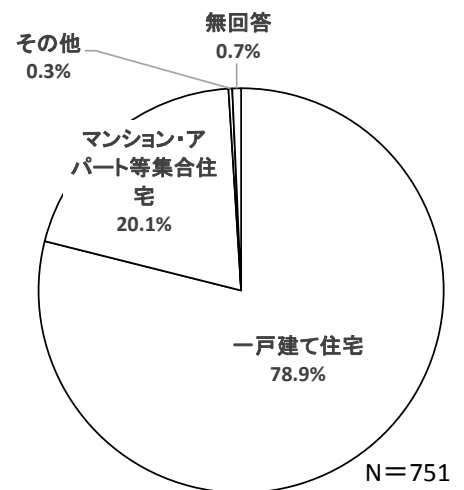
④ 世帯構成

「夫婦等」が44%と最も多く、次いで「親子（2世代）」が41%となっています。この2区分で全体の8割以上を占めていました。



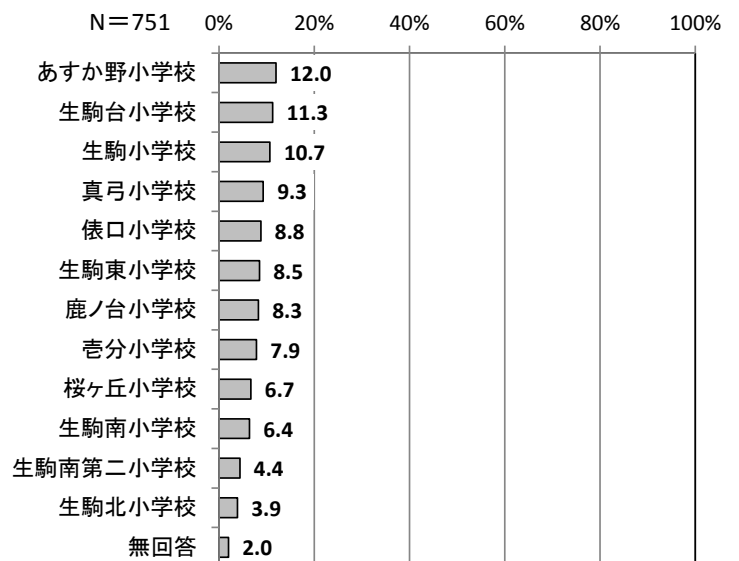
⑤ 住居の形式

「一戸建て住宅」が79%と最も多く、次いで「マンション・アパート等集合住宅」が20%、となっています。



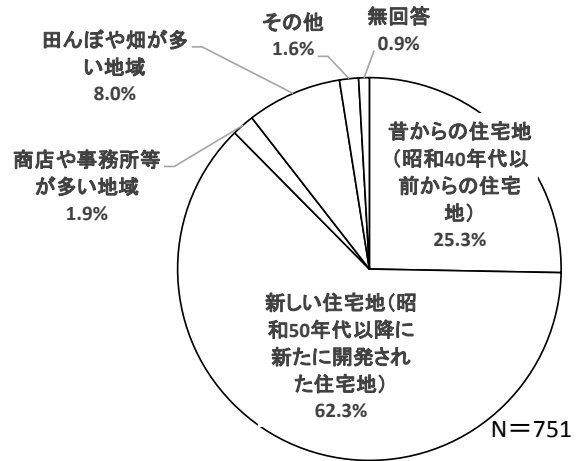
⑥ 住まいの小学校区

「あすか野小学校」が12%と最も多く、次いで「生駒台小学校」が11%、「生駒小学校」が11%、「真弓小学校」が9%となっています。最も少ないのは生駒北小学校で、4%でした。



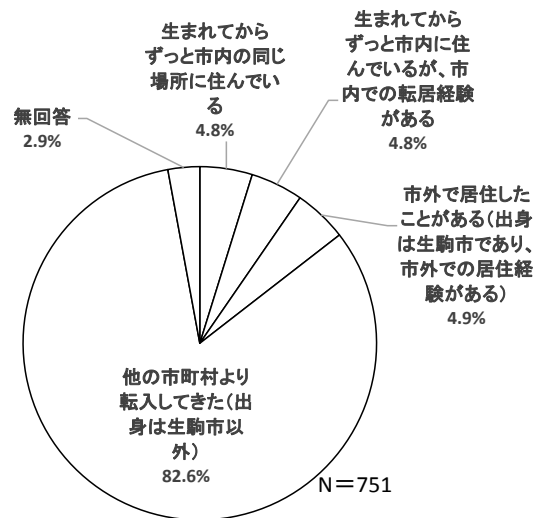
⑦ 住まいの周辺の状況

「新しい住宅地（昭和 50 年代以降に新たに開発された住宅地）」が 62%と最も多く、次いで「昔からの住宅地（昭和 40 年代以前からの住宅地）」が 25%、「田んぼや畑が多い地域」が 8%となっています。



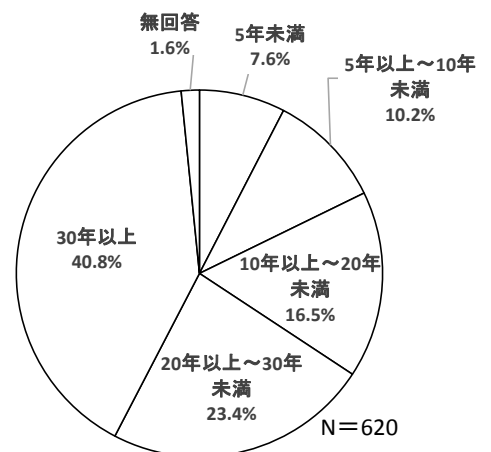
⑧ 生駒市の居住年数

「他の市町村より転入してきた（出身は生駒市以外）」が 83%と最も多く、次いで「市外で居住したことがある（出身は生駒市であり、市外での居住経験がある）」が 5%となっています。



⑨ 「他の市町村より転入してきた（出身は生駒市以外）」方の生駒市での居住年数

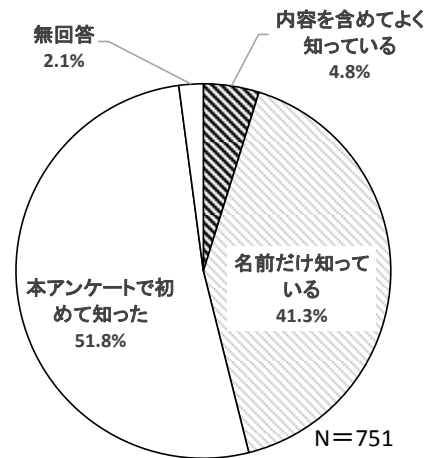
⑧で「他の市町村より転入してきた（出身は生駒市以外）」を選んだ方に、生駒市での居住年数を尋ねたところ、「30 年以上」が 41%と最も多く、次いで「20 年以上～30 年未満」が 23%となっていました。



■ 環境モデル都市について

問2 生駒市が環境モデル都市に選定されていることをご存知でしたか。[あてはまる番号1つに○印]

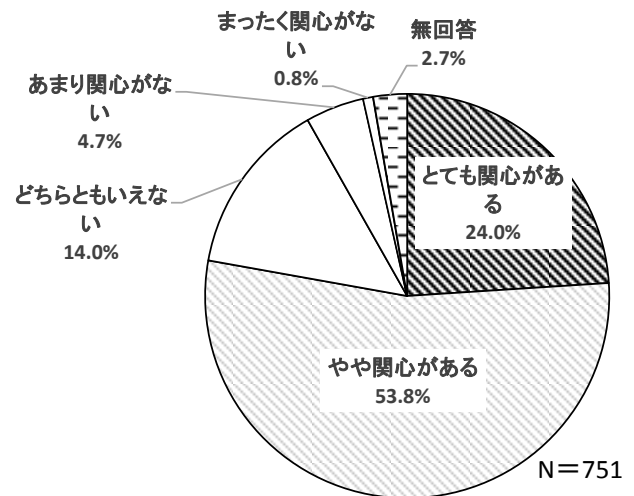
「本アンケートで初めて知った」が52%と最も多く、次いで「名前だけ知っている」が41%、「内容を含めてよく知っている」が5%となっています。



■ 環境への関心・考え方

問3 あなたは、環境問題にどの程度関心がありますか。[あてはまる番号1つに○印]

「とても関心がある」が24%、「やや関心がある」が54%で、合わせて8割弱が関心があると回答しています。

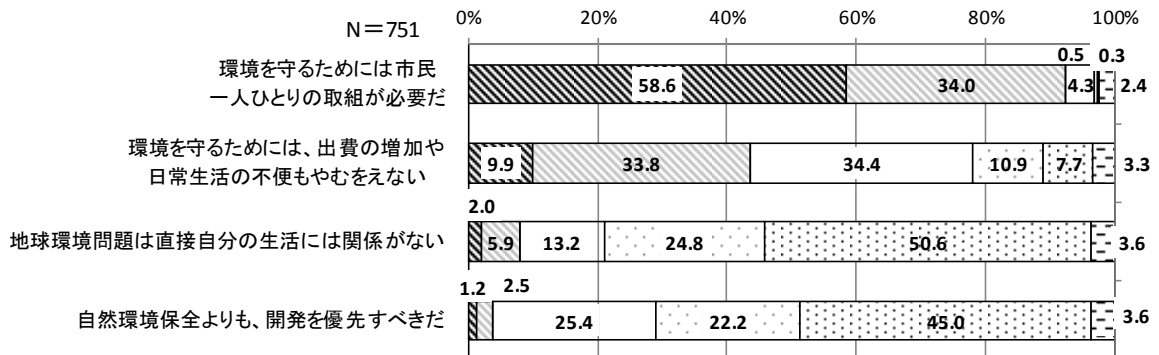


問 4 環境に関する下記の 1～4 の考え方について、あなたの考えに近いものを選んでください。
[1～4 のそれぞれについて、あてはまる番号 1 つに○印]

【全体】

「環境を守るためには市民一人ひとりの取組が必要だ」については、93%が「賛成」（「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」の合計）し、「地球環境問題は直接自分の生活には関係がない」については75%が「反対」（「そうは思わない」又は「どちらかといえばそう思わない」の合計）、「自然環境保全よりも、開発を優先すべきだ」については67%が反対の結果でした。

一方、「環境を守るためには、出費の増加や日常生活の不便もやむをえない」については「賛成」が44%、「反対」が19%、「どちらともいえない」が34%と意見が分かれています。



そう思う どちらかといえばそう思う どちらともいえない
 どちらかといえばそう思わない そうは思わない 無回答

■ 現状の環境・環境施策に対する満足度・重要度・誇りに思う生駒の環境

問 5- (1) 満足度 下記の 1～33 にあげた、生駒市の環境の現状や環境施策について、どの程度満足していますか。[1～33 のそれぞれについて、あてはまる番号 1 つに○印]

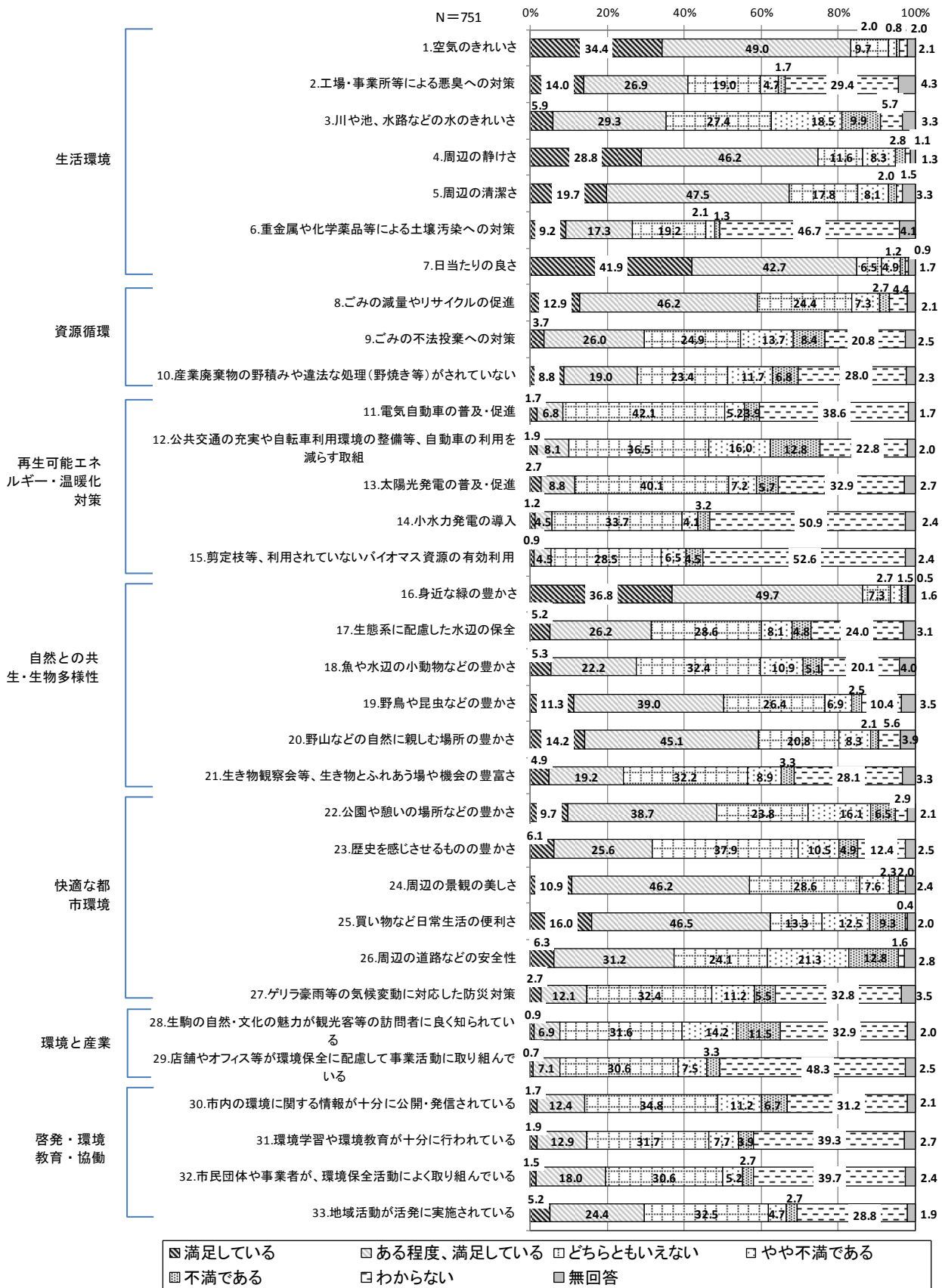
【全体】

全体的に、「生活環境」については満足とする割合（「満足している」と「ある程度、満足している」の合計）が比較的高くなっていましたが、「環境と産業」「再生可能エネルギー・温暖化対策」については満足とする割合が比較的低くなっていました。

市内の環境に満足していることを示す「満足している」と「ある程度、満足している」を合わせた回答の割合が高いのは「16.身近な緑の豊かさ」（87%）、「7.日当たりの良さ」（85%）、「1.空気のきれいさ」（83%）となっています。

「不満である」と「やや不満である」を合わせた回答の割合が高いのは「26.周辺の道路などの安全性」（34%）、「12.公共交通の充実や自転車利用環境の整備等、自動車の利用を減らす取組」（29%）となっています。

【全体】

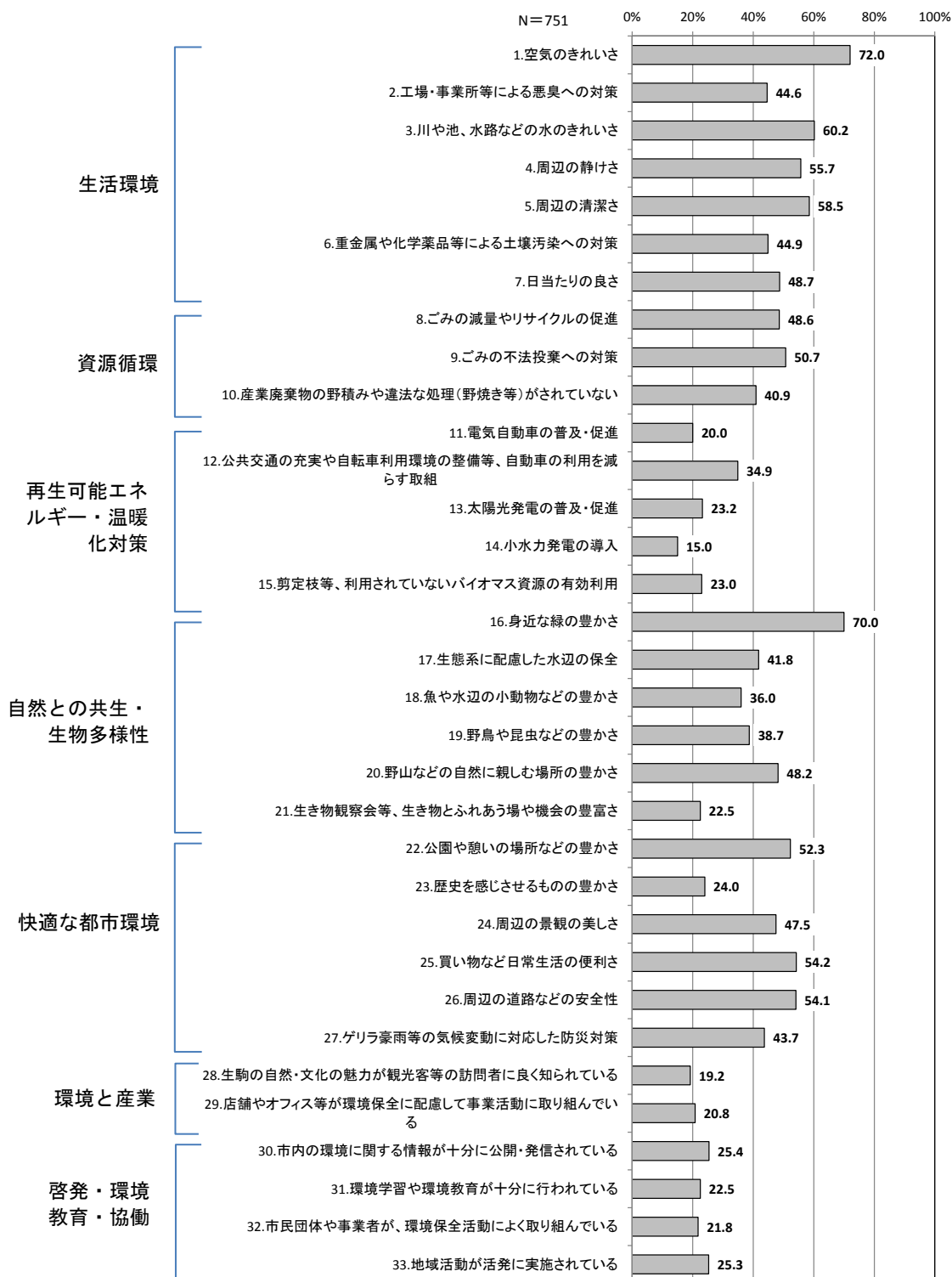


問5-(2) 重要度 また、これらの環境の現状や環境施策は、あなたにとって重要ですか。重要だと思うものをいくつでもお選びください。[1~33のうち、あてはまる番号に、いくつでも○印]

【全体】

全体的に、「生活環境」の設問は重要度が高く、「環境と産業」「啓発・環境教育・協働」がやや低い結果でした。

個別の設問に見ると、重要と回答した方が最も多かったのは、「1.空気のきれいさ」(72%)であり、次いで「16.身近な緑の豊かさ」(70%)、「3.川や池、水路などの水のきれいさ」(60%)の順でした。

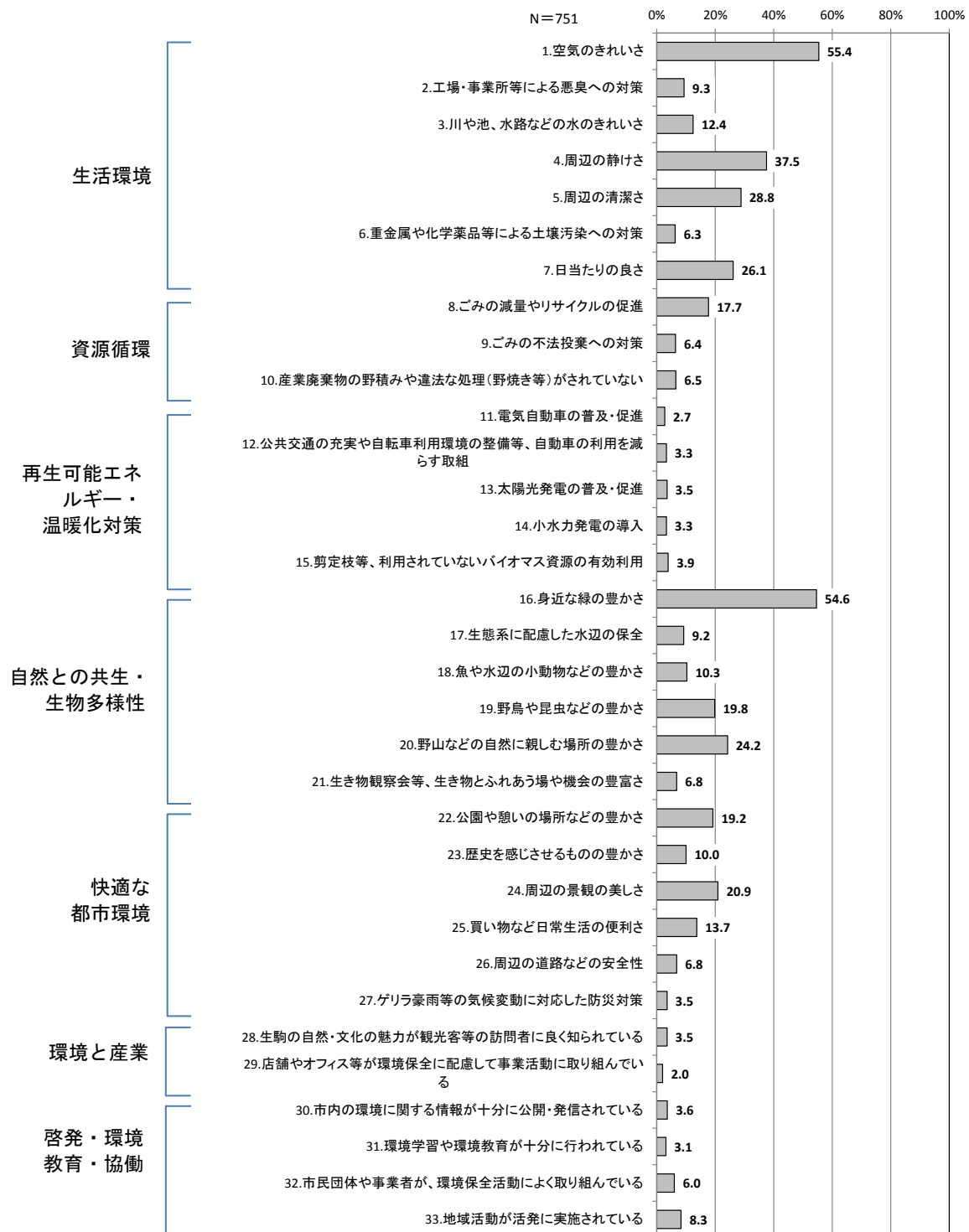


問 5- (3) 誇りに思う生駒の環境 これらの環境状況や施策のうち、誇りに思うもの、後世まで受け継いでいきたいと思うものをいくつかもお選びください。[1~33のうち、あてはまる番号に、いくつかでも○印]

【全体】

全体的に、「生活環境」については誇りに思う割合が比較的高くなっていましたが、「再生可能エネルギー・温暖化対策」「環境と産業」については比較的低くなっていました。

個別の設定間を見ると、誇りに思う、後世まで受け継いでいきたいと思うと回答した方が最も多かったのは、「1.空気のきれいさ」(55%)が最も多く、次いで「16.身近な緑の豊かさ」(54.6%)、「4.周辺の静けさ」(38%)でした。



■ 環境行動取組状況・今後の取組意向

問 6- (1) 現在の環境行動取組状況

下記の 1～22 にあげた、生活の中での環境に関する行動について、あなたは普段どの程度取り組んでいますか。[1～22 のそれぞれについて、あてはまる番号 1 つに○印]

【全体】

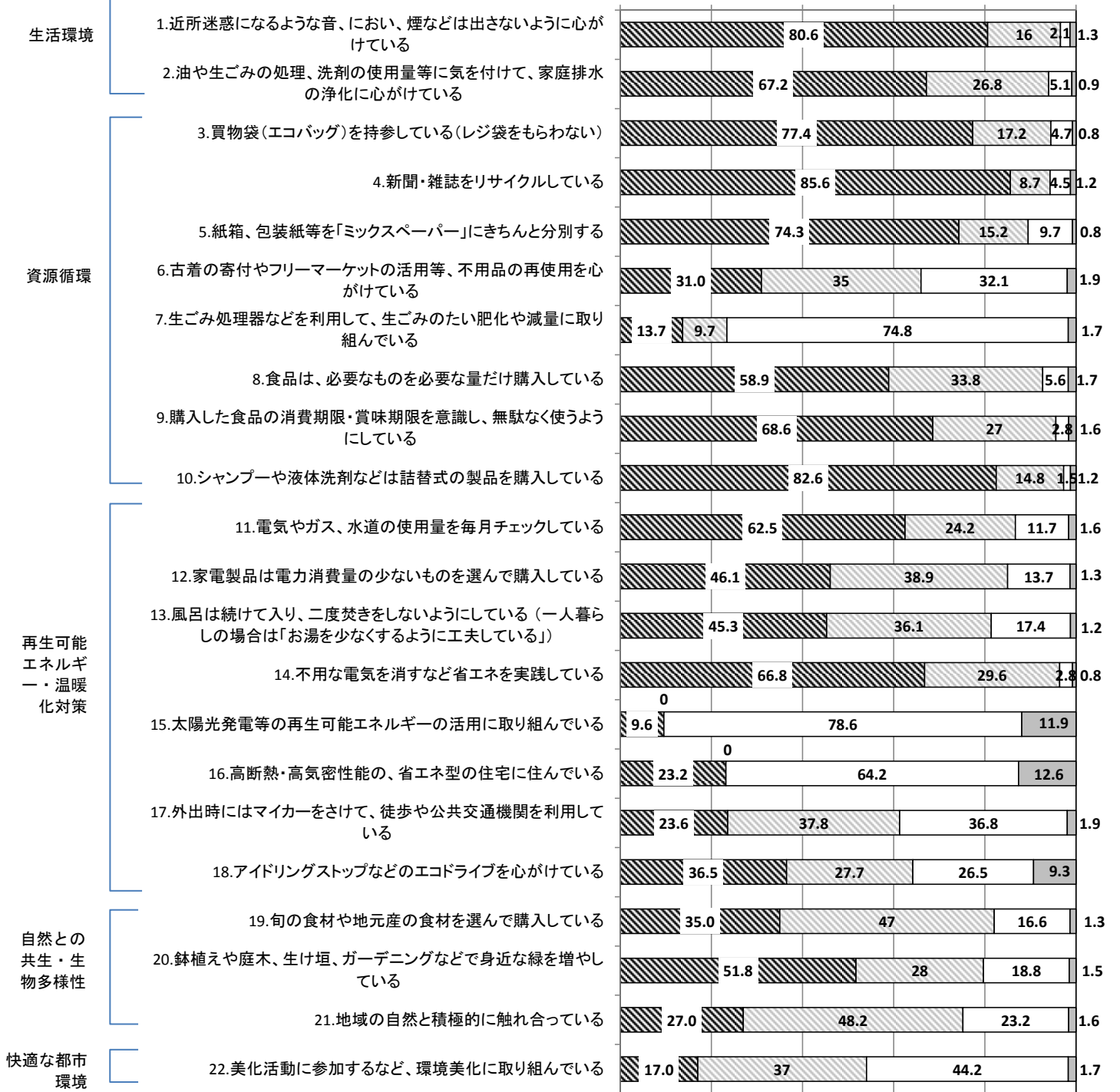
全体的に、「生活環境」については比較的取り組んでいるとする割合（「いつも取り組んでいる」と「時々取り組んでいる」の合計）が高くなっていました。

「いつも取り組んでいる」と「時々取り組んでいる」を合わせた回答は「10. シャンプーや液体洗剤などは詰替式の製品を購入している」の 97% が最も多く、次いで「1. 近所迷惑になるような音、におい、煙などは出さないように心がけている」が 97%、「14. 不用な電気を消すなど省エネを実践している」が 96% となっています。

「取り組んでいない」と回答したのは「15. 太陽光発電等の再生可能エネルギーの活用に取り組んでいる」の 79% が最も多く、次いで「7. 生ごみ処理器などを利用して、生ごみのたい肥化や減量に取り組んでいる」が 75%、「16. 高断熱・高気密性能の、省エネ型の住宅に住んでいる」が 64% となっています。

【全体】

N=751 0% 20% 40% 60% 80% 100%

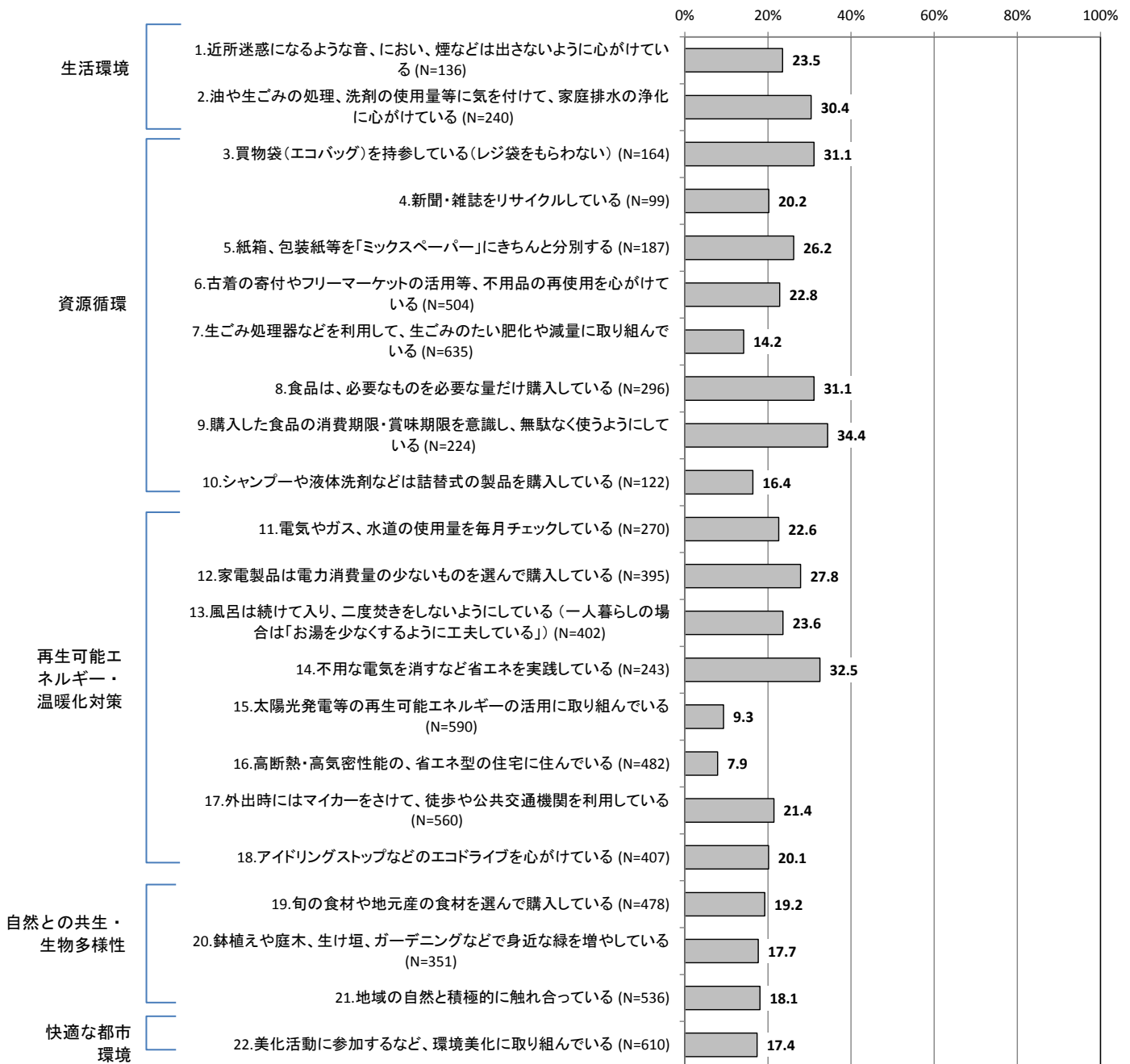


いつも取り組んでいる
 時々取り組んでいる
 取り組んでいない
 無回答

問 6- (2) 今後の取組意向

(1)で、2 または 3 を選んだ場合は、よりよいまちにするため、今後これまで以上に取り組みたいと思うものに○をつけてください。[1~22のうち、あてはまる番号に、いくつでも○印]

今後これまで以上に取り組みたいと思う割合について見ると、「9.購入した食品の消費期限・賞味期限を意識し、無駄なく使うようにしている」(34%)、「14.不用な電気を消すなど省エネを実践している」(33%)、「8.食品は必要なものを必要な量だけ購入している」(31%)の順となっていました。



■ 取組の認知度・参加状況・関心度

問 7 生駒市では豊かな自然と歴史と未来が融合したまちを実現するため、協働プロジェクトとして、下記の1～12のような取組を行っています。これらの取組をご存知でしたか。またこのような取組に関心がありますか。[1～12の取組ごとに、「認知度」「参加状況」「関心度」それぞれについて、あてはまる番号を1つずつ〇印]

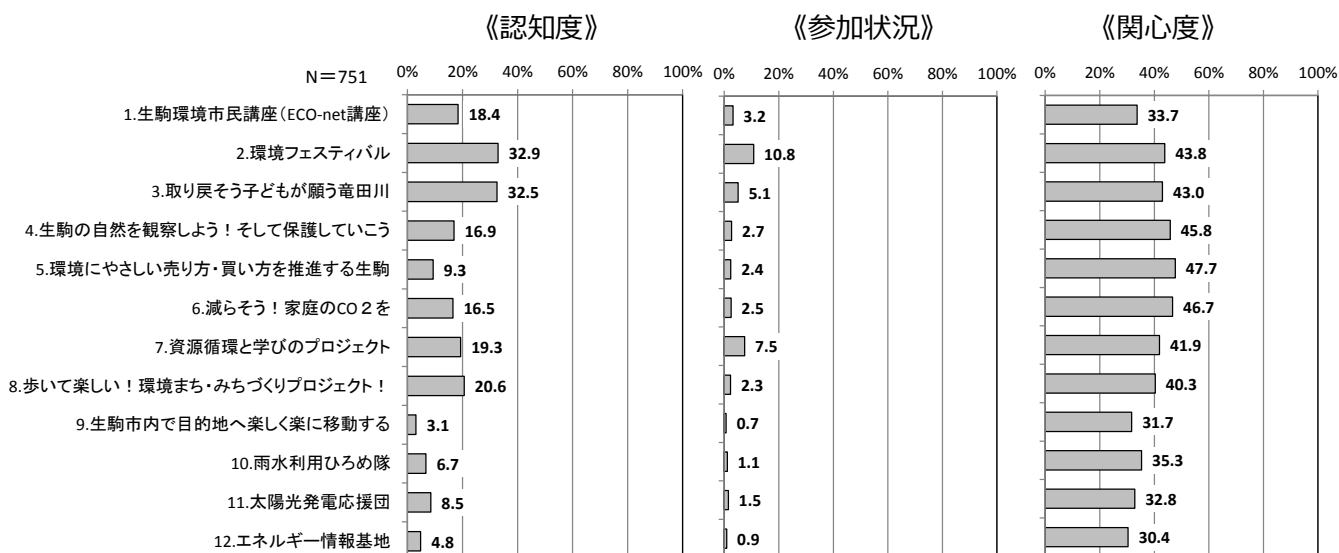
【全体】

各取組について関心度は比較的高かったものの、認知度や参加状況は低い結果でした。

「環境にやさしい売り方・買い方を推進する生駒」については関心度が最も高かった（48%）ものの、認知度は9%、参加状況は2%でした。

認知している人が最も多いのは「環境フェスティバル」（33%）であり、次いで「取り戻そう、子どもが願う竜田川」（33%）、「歩いて楽しい！環境まち・みちづくりプロジェクト」の順でした。

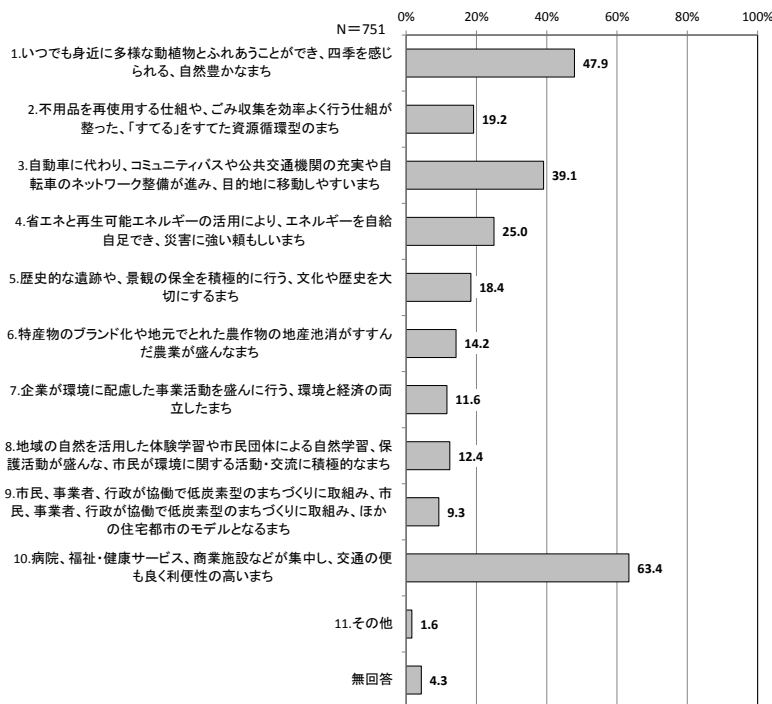
また、参加状況については、最も多いのは「環境フェスティバル」（11%）であり、次いで、「資源循環と学びのプロジェクト」（7%）、「取り戻そう子どもが願う竜田川」の順でした。



■ 生駒市の理想的な将来像

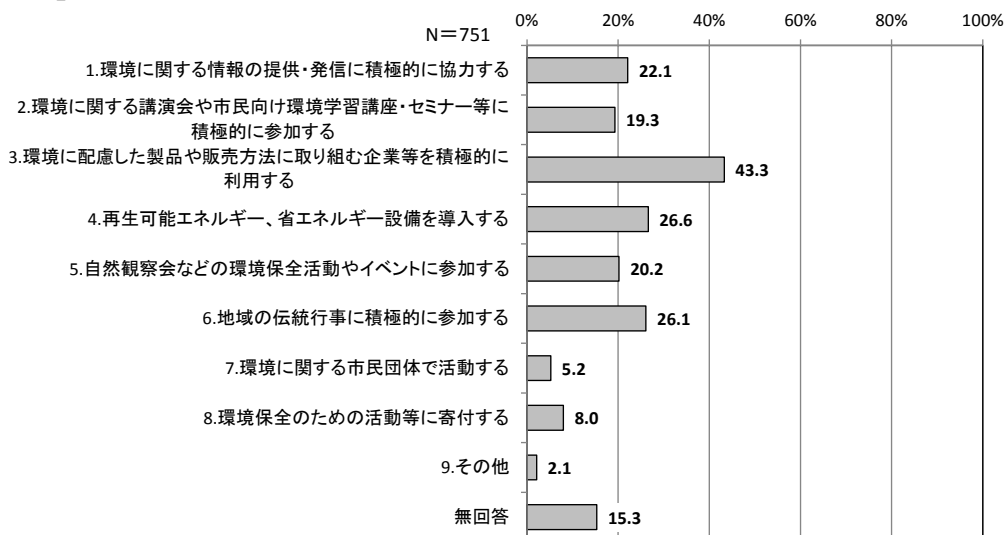
問 8 下記の 1～11 に考えられる生駒市の将来像を挙げています。この中で、あなたの理想とする生駒市の将来像に近いものがあれば、お選びください。〔あてはまる番号 3 つまでに〇印〕

「10.病院、福祉・健康サービス、商業施設などが集中し、交通の便も良く利便性の高いまち」が 63%と最も多く、次いで「1.いつでも身近に多様な動植物とふれあうことができ、四季を感じられる、自然豊かなまち」が 48%、「3.自動車に代わり、コミュニティバスや公共交通機関の充実や自転車のネットワーク整備が進み、目的地に移動しやすいまち」が 39%となっています。



問 9 理想的な将来像を実現するために、あなたはどのような取組ができると思いますか。〔1～9のうち、あてはまる番号に、いくつでも〇印〕

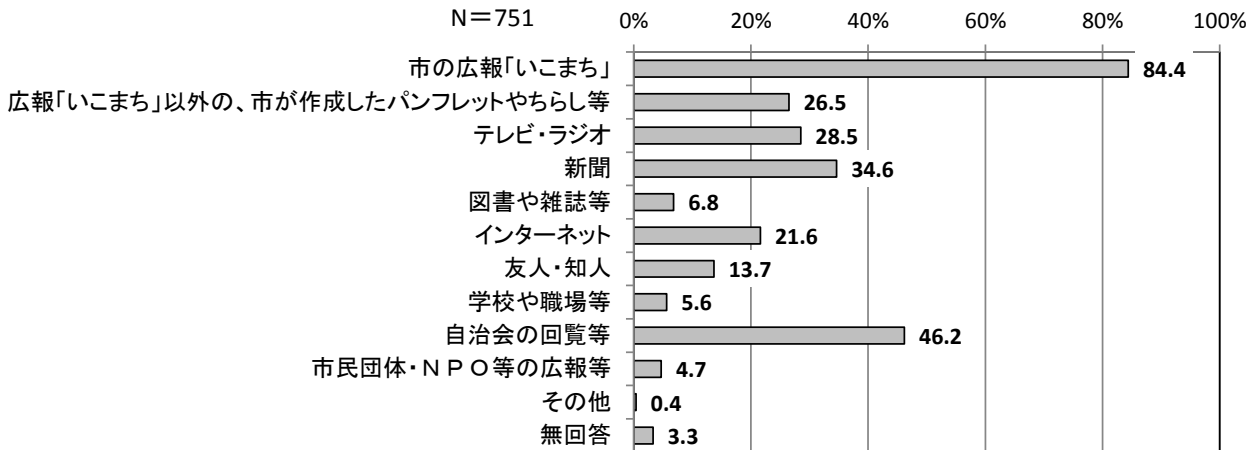
「3.環境に配慮した製品や販売方法に取り組む企業等を積極的に利用する」が 43%と最も多く、次いで「4.再生可能エネルギー、省エネルギー設備を導入する」が 27%、「6.地域の伝統行事に積極的に参加する」が 26%となっています。



■ 環境関連情報の入手先

問10 環境に関する情報の主な入手先をお答えください。[1~11のうち、あてはまる番号に、いくつでも○印]

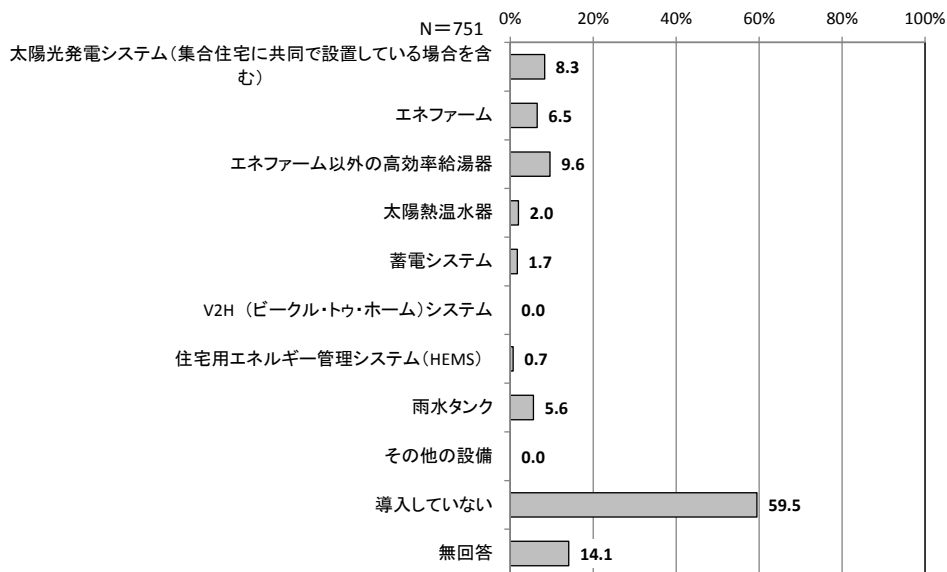
「市の広報「いこまち」」が84%と最も多く、次いで「自治会の回覧等」が46%、「新聞」が35%となっています。



■ 地球温暖化対策について

問11 あなたの家庭で、既に導入している再生可能エネルギー等がありましたらお答えください。[1~10のうち、あてはまる番号に、いくつでも○印]

「導入していない」が60%と最も多く、次いで「エネファーム以外の高効率給湯器」が10%、「太陽光発電システム（集合住宅に共同で設置している場合を含む）」が8%となっています。

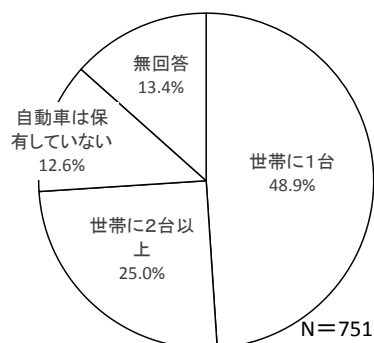


問12 自動車の所有状況をお答えください。保有している場合は、保有する車の種類もお答えください。〔1～3のうち、あてはまる番号1つに○印。保有する車の種類はいくつでも○印〕

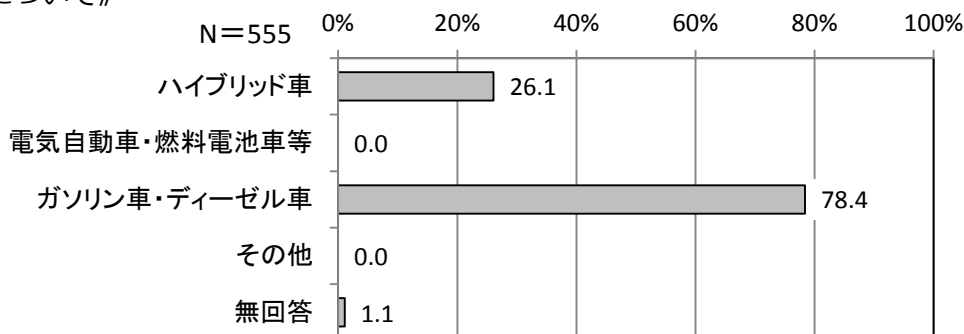
保有する車の台数については、「世帯に1台」が49%と最も多く、次いで「世帯に2台以上」が25%であり、合わせて約3/4の世帯が車を持っているという回答でした。「自動車は保有していない」世帯は13%と少数でした。

保有する車の種類については、複数の種類の車を持っている方がいるため合計が100%を越えていますが、「ガソリン車・ディーゼル車」が78%と最も多く、次いで「ハイブリット車」26%となっています。

《保有する車の台数について》



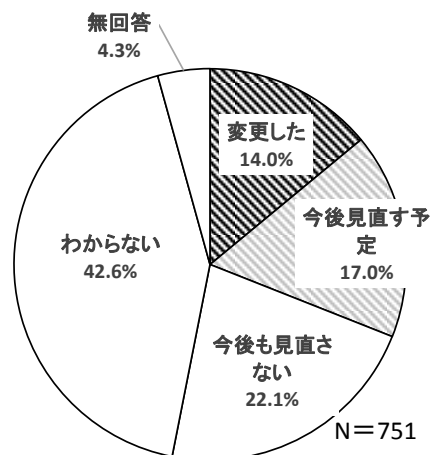
《保有する車の種類について》



問13 一般家庭でも様々な電力会社やガス会社と契約ができるようになりました。また、生駒市もこの7月に地域新電力会社「いこま市民パワー株式会社」を設立しました。

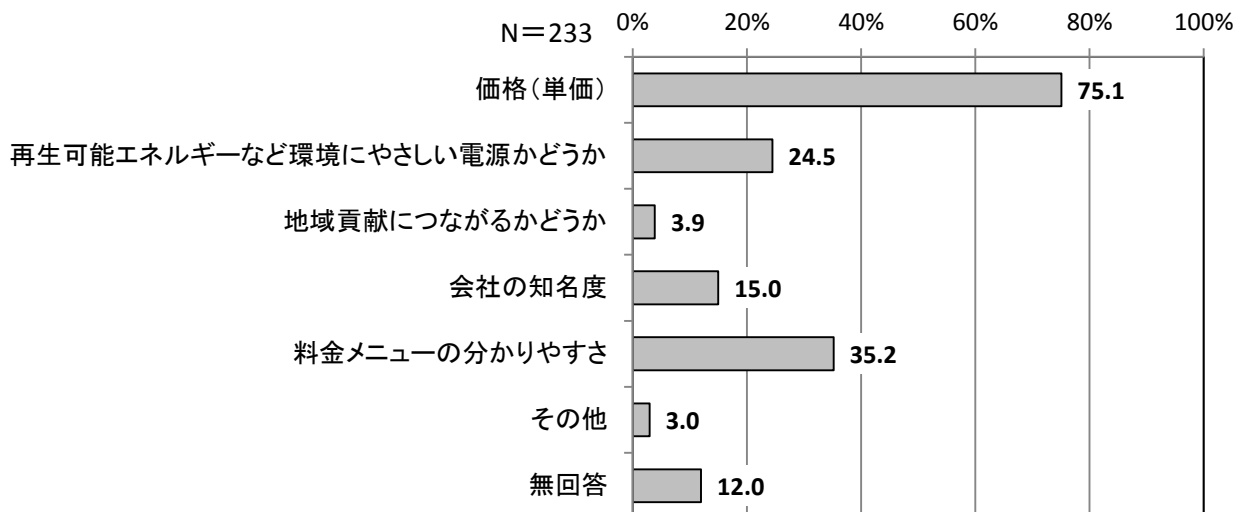
問13- (1) あなたのご家庭で、電力の購入先を変更、または見直す予定はありますか。〔それぞれについて、あてはまる番号1つに○印〕

「わからない」が43%と最も多くなっていますが、「変更した」が14%、「今後見直す予定」が17%であり、合わせて3割近くの方が電力の購入先を変更したり見直す予定であったりしていました。



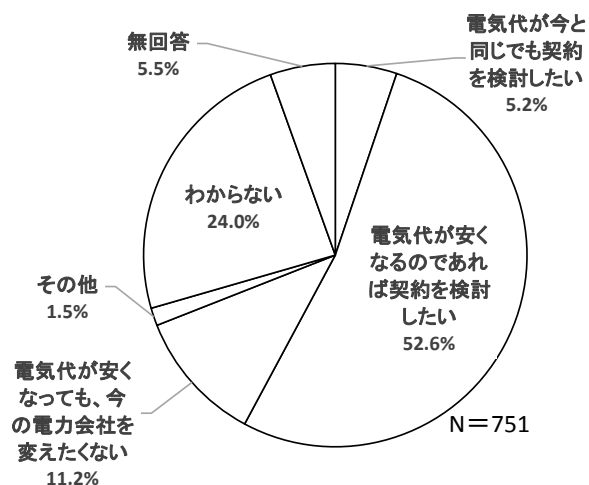
問 13- (2) 「変更した」「今後見直す予定」の方にお聞きします。見直しに当たって重視することの番号にいくつでも〇を付けてください。

「価格（単価）」が 75%と最も多く、次いで「料金メニューの分かりやすさ」が 35%、「再生可能エネルギーなど環境にやさしい電源かどうか」が 25%となっています。



問 13- (3) 平成 31 年度をめどに、一般家庭でも生駒市の地域新電力会社と契約できる予定ですが、そうなった場合に契約を検討したいと思いますか。[1~5 のうち、あてはまる番号に 1 つに〇印]

「電気代が安くなるのであれば契約を検討したい」が 53%と最も多く、次いで「電気代が安くなっても、今の電力会社を変えたくない」が 11%、「わからない」が 24%となっています。



問 14 (自由意見) その他、将来の生駒市の環境に対する希望がございましたら、ご自由にお書きください。

将来の生駒市の環境に対する希望について記述があったのは、回答者 751 人中、240 人でした。